

最終評価シート

■新規: H27年度から新規協定を結んだ指定管理者
 ■継続: 前回指定期間から継続して管理している指定管理者

公園名	指定管理者	
東高根森林公園	東高根森林公園パートナーズ（継続） 【横浜緑地(株)・(株)三宝緑地】	
最終評価	評価対象年度	指定期間
良好	平成29年度	3年目(5年間) 【通算12年目】

■項目別の評価結果

1. 適切な管理運営業務の執行		3. 事業効果	
B	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理では、老朽化の進む階段や木道において、こまめな修繕で長寿命化を図っているほか、木道にゴムマットを敷設するなど、利用者の安全確保を重視して積極的に取組んでおり、特筆すべき管理状況であった。 環境への配慮、清掃、安全管理、サービス向上については事業計画に沿って管理運営が行われていた。 ただし、植物管理では、樹木管理作業中に枝が落下して、フェンスを破損する事故が発生した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果によると、植物、清潔さ、接客及び安全・安心、全体の満足度はいずれも「高い」という評価になっていた。 植物、清潔さでは「きれいに整備されている」といった意見がある一方、「木をちょっと切りすぎと思う」、「暗い感じがする」との意見があった。 自由意見では、「このままで良い、観光地化するよりも」、「自然の感じが維持されていてとても良い」などの意見があった。
	<p>・平成29年度の公園利用者数は、5年目の年間目標値350千人に対して376千人であった。</p>		
2. 業務執行体制		4. 個別項目	
A	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画に沿った職員配置、本部との連携、人材育成など適切な運営体制が確保されていた。 個人情報保護が適正に順守されていた。 事業計画に沿って、ボランティア団体の活動支援や川崎市内の学校、市の文化施設、社会福祉協議会等と連携して、観察会やイベント、広場の芝刈などの維持管理を実施していた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史・文化・自然等を教材として活用した学習の機会創出」、「地域交流、多世代間交流の拠点づくり」、「多自然化・生物多様性に寄与する維持管理」については、事業計画に沿って管理運営が行われていた。
	5. 提案の履行		
		A	<p>指定期間の3年目として、公園資源を活かした学習機会の創出の提案について、市の文化施設と連携した東高根森林塾の開催や森林セラピー「すこやか自然体験」を実施するなど、提案に沿った活動が行われていた。</p>

■特記事項

管理状況が良く今後も継続が望まれる点	今後取り組むべき点や改善が望まれる点
<ul style="list-style-type: none"> 木栈道にゴムマットを敷設する取組みは、利用者の安全に配慮した取組みであり、今後も継続が望まれる。 市の文化施設と連携した「歴史ロマンウォーク」など、地域と連携して公園の魅力を発信する取組みは、今後も継続が望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 植物管理作業中にフェンスを破損する事故があった。切断箇所への掛け声確認など、再発防止対策の着実な実行為望まれる。

<最終評価の基準>

「特に優良」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に対し、特に優秀な実績・成果をおさめている。[Sが3つ以上、B、Cがない]
 「優良」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に対し、優秀な実績・成果をおさめている。[B、Cがない]
 「良好」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に適合している。[Cがなく、「特に優良」「優良」以外]
 「一部良好でない」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に対し、一部において適合していない。[Cが1つ以上ある]